

夏休みは図書館へ行こう!

イベント名	ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349	南千住図書館 ☎(3807)9221	尾久図書館 ☎(3800)5821	町屋図書館 ☎(3892)9821	日暮里図書館 ☎(3803)1645
ゆいの森あらかわ	めぐるるしゃぼん玉をつくろう!	くるくるしゃぼん玉をつくろう	尾久の寄席 こども落語	でんでんだいこをつくろう!	えんぴつたてをつくろう!
日時	8月16日(水) 午後1時30分~3時	8月16日(水) 午後3時~4時	8月27日(日) 午前10時~11時	8月9日(水) 午後3時15分~3時45分	8月2日(水) 午後3時30分~4時
会場	2階ワークショップルーム	地下1階視聴覚室	1階みんなのひろば	2階おはなしのへや	地下1階おはなしの部屋
対象	区内在住・在学の 小学4~6年生	区内在住の4歳~小学生 (未就学児は保護者同伴)	小学生	3歳~小学生 (未就学児は保護者同伴)	小学生
人数(申込順)	15人	20人	30人	8人	10人
申込み	7月21日(金)からゆいの森 あらかわホームページ、 または1階総合カウンター	7月21日(金)から 電話または2階カウンター	7月21日(金)から電話 または1階カウンター	8月2日(水)から 電話または2階カウンター	当日午後3時15分から 地下カウンター

なつやすみとしょかん スタンプラリー2023

期間 7月21日(金)~8月31日(木)
※景品の引き換えは9月10日(日)まで

対象 小学生以下の方

内容/スタンプカードに書いてあるクイズや質問への回答、本の貸し出しやイベントへの参加でスタンプを集める。15個中5個で達成!景品がもらえます(2回まで参加可能) ※なくなり次第終了

スタンプカードの配布/ゆいの森あらかわ・各図書館カウンター・図書サービスステーション



夏休み子ども博物館

申込み・問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

7月21日(金)午前9時から受付開始

費用の記載のない事業は無料です。会場の記載のない事業は、荒川ふるさと文化館地下1階視聴覚室が会場です。

親子で楽しむ展示解説

日時/①7月29日(土)②8月26日(土)午後2時~3時
対象/区内在住・在学の小・中学生とその保護者(申込み不要) 会場/荒川ふるさと文化館1階常設展示室

リトル学芸員

1日学芸員になり、博物館の仕事を体験!
日時/8月3日(木)①午前10時~11時30分②午後1時30分~3時 対象/区内在住・在学の小・中学生 人数/各回8人(申込順)

ミニミニ史跡巡り~南千住の伝説・昔話を探そう!~

日時/8月6日(日)午前10時~11時30分(雨天時は文化館の展示解説) 対象/区内在住・在学の小学生と保護者 人数/5組(申込順) 集合場所/荒川ふるさと文化館1階エントランス

俳句を作ろう

夏の季語を探し、俳句と俳画にチャレンジ!
日時/8月9日(水)午前9時30分~正午 対象/区内在住・在学の小・中学生 人数/15人(申込順)

あらかわ職人道場

職人さんに弟子入りし、伝統工芸の技を体験。

①指物の技でマイ箸を作ろう!
日時/8月19日(土)①午前9時30分~10時30分②午前10時45分~11時45分 対象/区内在住・在学の小・中学生 人数/各回4人(申込順) 費用/500円(材料費)

②木版画摺の技でポストカードを作ろう!
日時/8月20日(日)①午前9時30分~10時30分②午前10時50分~11時50分 対象/区内在住・在学の小・中学生 人数/各回6人(申込順) 費用/300円(材料費)

Topics

スクエアード・ストレート方式による交通安全教室が開催されました

5月16日、第四中学校で、スクエアード・ストレート方式による交通安全教室が荒川区と荒川警察署の共催で開催されました。

スクエアード・ストレート方式の交通安全教室とは、怖い思いやヒヤッとする体験から交通ルールの大切さを学ぶ教室です。

この教室では、自転車と自動車の衝突、自転車と人がぶつかる様子など、痛ましい事故の様子がスタントマンによってリアルに再現され、生徒の皆さんは最後まで注意深く見ていました。

生徒の皆さんからは、「ちょっとした不注意で大事故になるんだね」、「ヘルメットって、大事だね」などの感想があり、交通事故の恐ろしさと交通ルールの大切さを実感していました。



▲事故の様子を真剣に見学する生徒たち

あらかわ 今昔ものがたり 日 [あらかわの歴史と伝説]

その145

関東大震災100年・大震災の記憶を伝える東尾久の地蔵堂

区内を歩いていると、町の歴史や文化を伝えてくれる小祠や小さなお堂に出会うことがある。お地蔵さんと尾久 大正時代までほとんど農村だった尾久には、特にお地蔵さんがたくさんお祀りされているんだ。あらかわ遊園の近く、尾久警察署近く、北豊島学園近くの東尾久六丁目などに子育て地蔵があるよ。子育て地蔵は、子どもを守り育ててくださると信じられ、昔から信仰されてきた仏さんだ。尾久の人々はお地蔵さんをとても大事にしてきたんだね。

大門子育て地蔵 たくさんの地蔵の中で、今回は大門子育て地蔵を紹介しよう。都電の電停・東尾久三丁目から北に向かうと大門通りという古くからある道があり、その道沿いに地蔵堂が建っている。昔、このあたりは下尾久村大門と呼ばれていたから大門子育て地蔵と名付けられた。この地名は大門小学校の由来でもあるよね。

大門子育て地蔵 大震災一周年記念碑 お堂の前に「大震災一週(週の誤り)年記念碑」と書かれた大きな石碑が建っているんだ。「大震災」って、いつの地震か

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



な? 左脇に「大正拾参年九月春日建之」と刻まれている。東京のほとんどの建物が倒壊し火災で焼失したあの関東大震災の翌年だね。これはね、今から100年前、大正12年(1923)9月1日の関東大震災で亡くなった方を供養するために地蔵講(地蔵を信仰するグループ)を結成して建てた記念碑なんだってさ。

大震災の記憶 当時の尾久の被害は他の地域と比べるとずいぶん少なかった。この頃の尾久はまだ農村で、家が密集していなかったため被害が軽かったんだ。尾久の大きな農家には配給所が設けられ、被災者の救助にあたったんだって。また、これをきっかけに防災意識が高まったともいうよ。今、私たちは12年前の東日本大震災を経験して、学校や町会でも避難訓練など防災のための準備をしっかりと行っているね。

この心構えは、実は100年前の関東大震災から連綿と続いてきたものなんだ。東尾久三丁目の満光寺の子育て地蔵も、大震災の犠牲者の供養のために建てられたんだ。今度、地域の震災の記憶を探してみよう。

▶大門子育て地蔵と大震災一周年の記念碑

